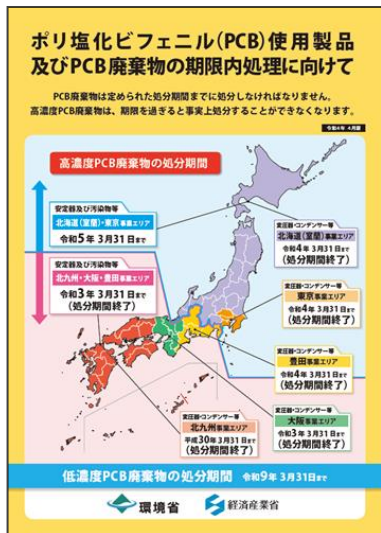


微量PCB混入および経年劣化 コンデンサ設備更新のご提案

微量PCB混入コンデンサ設備を使用されていませんか？



PCB処理に関するパンフレット(※1)

1990年以前製造のコンデンサ設備、1993年以前製造のリアクトルには、**低濃度(微量含む) PCB混入の可能性**があり、**PCB使用製品・PCB廃棄物は定められた期間内に処理が必要です。** (PCB特措法(2016年8月) 施行)

処理期限：2027年(令和9年)3月31日まで

なお、高濃度PCB廃棄物については、地域ごとに別途処理期限が定められており、**処理期限を過ぎると事実上処分不可**になります。

<参考> 環境省 ポリ塩化ビフェニル(PCB)早期処理情報サイト
<http://pcb-soukishori.env.go.jp/>
環境省 低濃度PCB廃棄物早期処理情報サイト
<http://pcb-soukishori.env.go.jp/teinoudo/>

▶ 微量PCB混入調査について

微量PCB混入が懸念される設備は、絶縁油の調査が必要です。

- ・タンク形製品は油量調整装置を一時切り離すことで採油が可能です。
- ・缶形製品は構造上、ケース開口による採油となるため、調査後の製品再使用はできません。

経年劣化したコンデンサ設備を使用されていませんか？

高圧汎用機器の更新推奨時期は15年(※2)とされています。それ以降は劣化により故障率が上昇し、最悪の結果、機器の故障に起因する火災が発生する可能性が否定できません。

PCB分析と合わせて、使用中のコンデンサ設備の劣化診断を推奨します

注) 有償となりますが、当社製タンク形コンデンサ設備(ユニバーサル、スーパーユニバーサル)は絶縁油のガス分析による劣化診断が可能ですので、必要に応じてご相談ください。
(採油作業には当社技術員の派遣が必要となります)



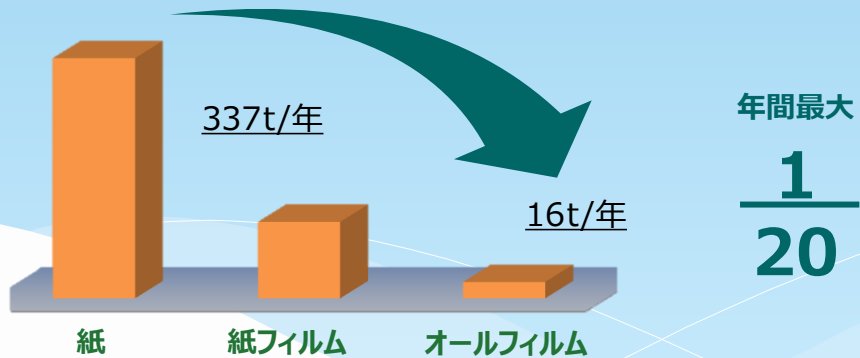
旧 タンク形コンデンサ設備

当社独自技術のタンク形コンデンサ設備の設計期待寿命は、25年~30年です。
(缶形タイプは15年)

更新いただくことで、安全性・信頼性が向上し、また、環境負荷低減など付加価値を高めた設備にすることが可能です。

★最新のコンデンサに更新することで、 環境負荷低減にも寄与します

CO₂排出量 削減効果

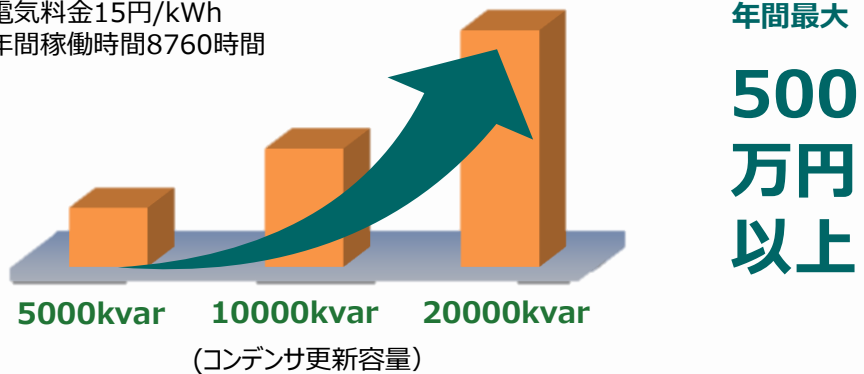


その他、力率改善による電気料金削減はもとより、設置スペースの縮小化にも寄与します。

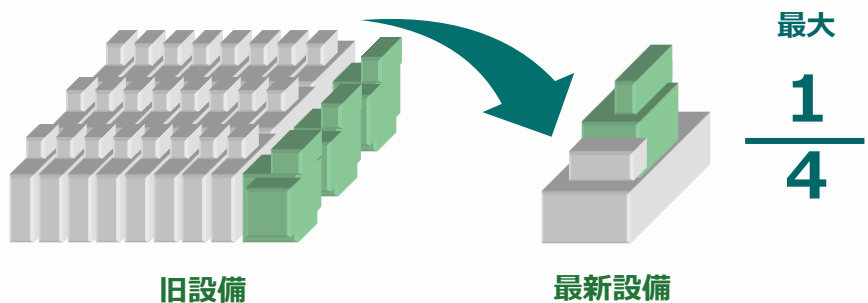
電気料金 削減効果

計算条件

- ・紙コンデンサからオールフィルムコンデンサに更新
- ・電気料金15円/kWh
- ・年間稼働時間8760時間



省スペース



人と技術の未来をひらく
日新電機株式会社

〒615-8686 京都市右京区梅津高畝町47番地
TEL(075)861-3151 (代表) FAX(075)864-8312 <https://nissin.jp/>

お問い合わせ先	産業営業部	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 (KANDA SQUARE 19階)	TEL(03)6739-9702(直通)	FAX(03)6739-9092
東京支社	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 (KANDA SQUARE 19階)	TEL(03)6739-9700	FAX(03)6739-9090
中部支社	〒450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目8番18号 (名古屋三井ビルディング北館 15階)	TEL(052)561-5511	FAX(052)561-0369
関西支社	〒530-6129	大阪市北区中之島3丁目3番23号 (中之島ダイビル 29階)	TEL(06)6444-7540	FAX(06)6444-6081